

ようこそ わがまちへ



末宗智彦さん (東坪・29歳)



沖縄で得た陶芸の技術と、大山町の自然が影響を与えた末宗さんの作品

町内で陶芸家として工房を開き、ご夫婦で陶芸作品を作っている米子市出身の末宗智彦さんを紹介します。

Q. どうして陶芸家に?

末宗 子どものころからものづくりが好きで、沖縄県立芸術大学に進み、陶芸の勉強をしました。作品を作り、見た人が自分の思いを感じ取ってくれる経験を積み重ねるうちに、これだけ広がりのある仕事はないと思いました。

陶芸ができる広い家を探しており、知人の紹介で大山町に住むことに。東坪で制作を始めて2年近くになります。

末宗 とにかく広い。大山からなだらかに傾斜をしたすそ野が海まで広がっている地形からだと思いますが、開放感があります。それに人もどこかやさしいです。自分より年上の方がよく働いておられ、刺激されます。都会の利便さは魅力ですが、情報は地方でも目をとぎすませていければ得ることができそうです。でも、自然とのふれあい、体験はここでしかできない。作品づくりにもいい環境だと思います。

Q. 作品を紹介してください。

末宗 日常使いの茶わんや、皿、コーヒーカップなどを灯

油窯で作っています。土は島根県石見地方のもの、信楽粘土を混ぜて使っています。海など自然をモチーフにしながら、流行も取り入れるようにしています。9月15日から24日まで自宅で作品展をしますのぜひ皆さんにも手にとっていただきたいです。

◆末宗智彦作陶展

とき 9月15日～9月24日
10時～18時

ところ 大山町東坪1216

お問い合わせ

☎ 0859・54・4411

夏の夜の風景



お盆の大献灯

8月13日から16日まで大山寺周辺で約二千本の竹灯ろうに火がともされました。旅館などから出る廃油を使った手作りの灯ろうの火が辺りをほのかに照らしました。

大山町納涼花火大会



7月22日(土) 御来屋漁港一帯で花火大会がおこなわれました。約三千発の花火が打ち上げられ、多くの人で賑わいました。

編集後記

学生の皆さんは夏休みが終わってしまいましたね。夏休みの宿題といえば自由研究。お盆すぎから風車をテーマに選んでくれた小学生(主に米子市)のお父さん、お母さんから企画情報課にお問い合わせがたくさんありました。来庁してくれた数名の小学生からの質問は「羽根はなんで3本なの?」「いくらお金がかかったの?」「どうやって向きを変えるの?」など。また広報でもまとめて質問の答えを載せたいと思います。逆にこちらが「地球温暖化の原因といわれているものは?」と質問すると「二酸化炭素!」とすぐに解答が。環境学習がきちんと身に付いているなど感心しました。

大山町広報 9月号 No.18

◆発行: 大山町役場
◆編集: 企画情報課

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地

TEL 0859-54-3111

FAX 0859-54-2702

大山町ホームページ

<http://www.daisen.jp/>

◆印刷: 有限会社米子プリント社